

令和7年度 北区 特色ある区づくり予算区企画事業及び関連事業の提案状況について

【区企画事業】

番号	事業名	担当課	事業概要	区分	報告資料 2 - 2 自治協委員提案事業
■自然の魅力輝くまち					
1	北区水辺大学	地域総務課	北区にある豊かな水辺および活動する地域団体にスポットをあてて発信し、区民の区に対する愛着形成を図るため、地域団体などと協働で体験型の事業を実施します。	新規	
2	水辺ふるさとづくり事業	区民生活課	ひょうたん池や十二湯、濁川自然生態観察園で自然観察会や保全活動等を実施し、自然環境についてのふるさとへの誇りと愛着を育むとともに、次世代の担い手の育成を図ります。	継続	2、3
3	キタクなるみどりの景観共創事業	産業振興課	海辺の森や農村環境などの保全活動を支援します。あわせて、自然環境などを活かした交流人口拡大に取り組みます。	継続	
4	松浜海岸の自然環境保全と地域の魅力づくり事業	建設課	松浜海岸に近接する住宅地の飛砂被害を軽減する為、継続的に飛砂対策を行うことで、生活環境の改善を図ると共に、地元の誇りである【ひょうたん池】(市民文化遺産)を埋没から守り、安らぎあふれる自然環境を保全します。 また、官民協働を行うことにより、地域の愛着や環境保護への意識啓発を図ります。	継続	
■未来へ続く活力あるまち					
5	大学連携「未来のまちづくり」事業	地域総務課	区民の身近なテーマで継続的に大学、民間事業者、地域、行政が連携した講座等を開催することで、地域のつながり強化やまちづくりの活性化を図ります。	継続	
6	北区トマト王国プロジェクト	産業振興課	「儲かる農業」実現に向け、農作業の省力化・効率化を図るとともに、ブランド力強化と新たな販路獲得を行います。あわせて、新規就農者への支援を強化し、耕作放棄地対策にも取り組みます。	継続	
7	商店街ブランディング事業	産業振興課	うまいもん市場やこらっせ松浜市など、地域に密着したイベントなどを行い、賑わいを創出するとともに、エリア全体でのイメージアップ及び地域への愛着形成を図ります。	継続	
8	産学官豊栄まちなかりノベ事業	産業振興課	産学官の連携によりリノベーションした多世代交流の場を活用し、まちなかの賑わいを創出します。	継続	
9	キタクなる魅力創造プロジェクト	産業振興課	市外・県外・外国人客・若者世代に向けた広報を強化するほか、交流人口拡大のため、観光資源を整備して、新規顧客の開拓とリピーターの増加を狙います。	継続	
■いきいきと心豊かに暮らせるまち					
10	北区郷土博物館地域魅力発信事業	地域総務課	北区郷土博物館を起点に、北区の歴史・文化・伝統を北区の魅力として発信します。常設展示拡張コーナーの充実、伝統文化である葛塚織や郷土芸能保存団体による神楽、獅子舞、盆踊り等を広く市民に発信し、北区の魅力を再発見する機会とします。	継続	
11	北区エンジョイスーツ事業	産業振興課	気軽にスポーツを楽しめる区民参加型のイベントや、各種競技別大会を開催し、多くの人がスポーツを愛好する機運の醸成を図ります。あわせて、ジュニア世代の課外活動を支援します。	継続	
12	出張児童館事業	健康福祉課	既存の公共施設等を活用し、児童館のない地域へのサービスの拡充を図り、子どもの居場所づくりを推進します。	継続	
13	子育て応援事業	健康福祉課	子育て支援講座や、多胎児を妊娠中の方やそのご家族向けの交流会の開催、地域団体への子育て支援講座の講師派遣により、子育てを支援します。 また、多世代交流カフェや子育て応援イベントの開催により、子育てを支える地域づくりを推進します。	継続	
14	北区もの忘れ検診	健康福祉課	認知機能の低下が疑われる人を早期に発見、適切な支援・サービスにつなげるため、北区の65歳以上の希望者に対し、国保の特定健康診査、後期高齢者健康診査を受診の際に、「もの忘れ検診」を実施します。	継続	
■安心安全で住みよいまち					
15	「高めよう互近助力」地域でつくる避難生活運営体制事業	地域総務課	全避難所において避難所運営組織の立ち上げが求められており、区内8地区でモデル的にワークショップや防災訓練を行い、住民主体の避難所運営組織の立ち上げを支援します。	継続	

※網掛けの「健康福祉」および「防災関連」事業は、全市的な課題であることから「特色ある区づくり予算」ではなく、本庁組織と協力・連携しながら北区で実施する事業です。

令和7年度 北区 特色ある区づくり予算区企画事業 自治協議会委員からの提案一覧						
報告資料2－2						
	提案者	地域課題	提案・アイデア	担当課	区の方針	区分
1	三浦委員	世代間交流が減っていて、どの世代も孤立しやすい傾向である。支え合いの意識を醸成することで、世代を越えて助け合い、交流できる地域づくりを目指す必要がある。	支え合いが表現されたフォトコンテストを実施 ・地元や身近な支え合い、助け合いについての写真を募集 ・フォトコンテスト優秀賞1位から3位を表彰し、景品を用意 ・日めくりカレンダーを作成	健康福祉課	地域の支え合いの体制づくりを推進するために運営されている「支え合いのしくみづくり会議」の中で、試験的に実施できるかどうかも含めて検討します。	支え合いのしくみづくり会議の中で検討
2	前田委員	十二潟では、夏季にヒシが湖面を覆い隠すように繁殖するため、例年除去作業を実施していた。令和5年度から今年度（8月現在）は、ヒシが激減する異変が起きている。	十二潟の水生植物の生態異変の原因調査と改善計画策定 ・上池、中池、下池の土砂の堆積状況調査 ・湧き水の減少と潟内流量の減少に伴う水質悪化等調査 ・水田除草剤との関係調査	区民生活課	以前は繁茂していたヒシが令和5年度から激減したことについて、環境対策課の定期的な水質調査では目立った変化はなく、有識者に意見をお聞きしましたが、「原因は分からない。様子を見ていくように。」とのことでした。 十二潟の環境を注視し、効果的な保全活動は何か、十二潟の環境保全活動を行っているNPO法人いろいろこ十二潟を守る会や岡方地区コミュニティ委員会をはじめとする地域の方々と共に考え、取り組んでまいります。	R7 区づくり事業（No2）に反映
3	前田委員	十二潟は新潟平野の地質形成期に大きく寄与した阿賀野川水系に残る三日月湖であり、新潟市の自然遺産として後世に残す意義は大きい。	阿賀野川の十二潟(三日月湖)公園化整備計画の策定 (1) 当面の施設整備等の提案 ・木製の「十二潟(古阿賀)の歴史と植生」プレートの更新 ・水生植物他の観察用棧橋の全面改修 ・旧仮設棧橋(ドラム缶使用)の撤去 ・屋根付き観察小屋・休憩ベンチ・テーブルの設置 ・歴史説明資料設置 ・県指定絶滅危惧種他の水生生物の保護増殖区域の確保 ・トイレの設置、駐車場の整備 ・観察小船の保管場所確保 (2) 最終の施設整備等の提案 ・十二潟の水辺の整備(漂着ゴミの撤去や一部ヨシを伐採し、昭和30年代の水辺を再現) ・十二潟の上池・中池・下池周辺に遊歩道を整備 ・下池湖畔高台に公園としての観察・休憩施設、阿賀野川・十二潟歴史文化展示施設、トイレ、駐車場を整備	区民生活課 建設課	○小規模な整備（区民生活課） NPO法人いろいろこ十二潟を守る会や岡方地区コミュニティ委員会をはじめとする地域の方々と相談のうえ、同法人が策定する「水辺ふるさとづくり事業」の実施計画書へ反映いただき、十二潟を後世に残せるよう地域とともに取り組んでまいります。 （建設課） 現在、公園整備計画はありませんが、十二潟周辺の道路の維持補修を継続して行っています。	小規模な整備：R7 区づくり事業（No2）に反映 公園整備：－
4	前田委員	除雪作業実施事業者間に技量の差がある。	北区除雪体制整備三カ年計画(除雪「苦情」低減化計画)の策定(除雪作業実施者の研修と評価制度を主とする) ・事前に実技研修を実施(豪雪地域の行政職員等を講師に) ・除雪時の苦情内容と件数を記録・把握し、研修参加内容等もふまえて評価し、苦情件数の少ない事業者を顕彰・公表 ・研修・評価制度は3年毎に見直しを行う	建設課	毎年、土木総務課主催によるオペレーター研修を行い、技術向上に努めています。また、除雪業者を評価するにあたっては、降雪状況や現場状況が地域によって異なることから、苦情件数などによる評価では顕彰・公表は難しいと考えています。	実技研修：現行事業で実施 除雪業者の評価：－

令和7年度 北区 特色ある区づくり予算区企画事業 自治協議会委員からの提案一覧

5	前田 委員	岡方地区では小中学校のあり方について検討している。その際、地域の災害避難所の存続等が課題となる。他にも、中央環状道路の遅れ、地域に2カ所ある保育園の維持、農業事業者統合法人化などの課題がある。	岡方地区の地域活性化総合計画の策定 ・北区各地区の課題であるため、モデル事業として地域活性化総合計画の策定を提案するもの	地域総務課	新潟市では、まちづくりの理念と目指す都市像を基本構想として「新潟市総合計画」を策定しており、その中で区の特性をとらえ「区ビジョン基本方針」を設定、その実現のために「区ビジョンまちづくり計画」を策定しています。この中で、北区内の特性、課題をとりあげ、課題解決や将来像を目指すための取り組みを行っています。つきましては、区ビジョンまちづくり計画に基づき、各地区の課題について取り組んでまいります。	現行事業で実施
6	佐久間 委員	北区は市内でも特に少子高齢化の進んでいる区で、15年後は子どもの数が現在の53%になるとのデータがある。そのような中でも、若年妊娠・高齢出産・不妊症など性に関する問題や虐待事案、子どもにおいては不登校やネット依存等の問題が増えている。 また、北区は成人を対象にした健康診断の受診率が低いうえに喫煙や飲酒習慣のある人が多い。	プレコンセプションケアの推進 ・若い世代の健康を増進し、より質の高い生活を実現してもらうことで、その世代のみならず、次世代の子どもたちをより健康的に ・『若いから無理をしても大丈夫』ではなく『若いからと油断せず、健康を促進するべき』という認識をもってもら ・自ら健康管理できるようになってもらうため、小学校・中学校・高校等で、専門家による講演会や、子どもたちも含めたパネルディスカッションを行う 思春期の心と体の健康教育 ・中学校・高校で、助産師などの専門家による性教育や命の安全教育を行い、正しい知識を身に着け、他者への思いやりの気持ちを育み、命の大切さや自他を大切にすることを高める ・悩んだり、困ったときは相談するという認識をもってもら	健康福祉課	毎年区内の中学校で思春期健康教育を実施し、助産師や保健師から性に関する知識や命の大切さを伝えています。正しい知識の習得と、自分も周囲も大切にする気持ちを育むことで、生徒自身の健康管理について意識を高めていけるよう努めています。 毎年区内の中学校・高校の養護教諭と北区保健師の連絡会を行い、課題や好事例の共有を行っています。今後この連絡会で思春期健康教育の方向性について話し合う予定であり、区の課題を養護教諭と共有し、より学校主体で問題意識を持って課題解決に取り組んでいただけるよう働きかけていきます。 プレコンセプションケア推進も含めた思春期健康教育の内容については、全市的に統一していく方向の話が出ていますが、体制が整うまでの間においても、養護教諭と連携しながらまずは区内で統一した取り組みを進めていきます。	現行事業で実施
7	佐久間 委員	不登校やネット依存、いじめなど、児童期や思春期の子どもと保護者が抱える課題が深刻化している。親に十分な愛情を注いでもらえず、愛着障害により問題行動を起こす子どもも増えている。また、子育ての不安感や負担感を感じている保護者も多い。 地域で安心して子育てできるよう、妊娠期から親子を支援する体制の強化が、これまで以上に必要である。	親子が気軽に参加できる講演会・相談会や遊びの会を開催 ・課題解決に向けてのきっかけとする ・親も親として育つことを支え、楽しさを感じながら安心して子育てできるよう支援を行う 乳幼児健診や保育園・こども園等で、養育におけるアタッチメントの重要性について、保護者に継続的に伝えていく取り組みを行う ・3歳までは特に『自分は大切にされている』という気持ちを育み、信頼感が育ち、深い人間関係を築くことに繋がる時期であるため、虐待予防や子ども自身の自立、自己肯定感向上の支援を行う	健康福祉課	母子手帳交付では必ず看護職が相談対応し、必要に応じて妊娠中から地区担当保健師等が継続的に支援しています。また新生児訪問や股関節検診など産後の早い段階から保護者に各種講座や子育て支援センター等を紹介し、親子の孤立防止を図っています。さらに妊娠・子育てほっとステーションも幅広く周知し、保護者が安心して子育てできるよう切れ目のない支援を行っています。養育におけるアタッチメントの重要性については、乳幼児健診で専門職から個別にお話しする時間をとる、待ち時間に見ただけの媒体（DVDやポスター）を使用する、出張講話の内容に取り入れる等、機会を捉えて保護者に伝えていけるよう努めています。また特に支援が必要な家庭においても、地区担当保健師等が個別に丁寧に関わっていきます。	現行事業で実施